

全母子協 ニュース

National Federation of Single Parents and Children's Welfare Associations in Japan

第49号

2017年(平成29年)7月発行

一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会
〒140-0011 東京都品川区東大井五丁目26番20号
アクシルコート大井仙台坂104
電話 03-6718-4088 FAX 03-6718-4087
E-mail : info@zenbo.org URL http://zenbo.org

一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会

理事長就任のご挨拶



海野 恵美子

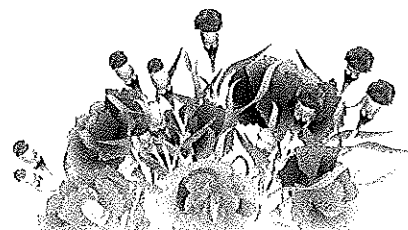
(一般財団法人 川崎市母子寡婦福祉協議会 理事長)

組織の大切さ

今年度、理事長に再任されました。今後任期の2年間、皆様にご協力をいただき理事長として職務を全うしたいと思います。

前年は1年間理事長を努めさせていただきました。全母子協も過渡期にあり、より良い全母子協となるよう改善していきたいと思っております。

全母子協を後世に残すには、若い会員が働きながら活動できる組織づくりをしなければ有能な人材を確保することは難しくなると思っております。組織の活性化を図るため、寡婦の皆様にご協力をいただき、また若い人達を見守っていただきたいと思います。



自立支援策・医療費・奨学金・学習支援・待機児童・留守家庭児ホール・こども食堂等、全国的に統一されていない事が多々ある現状の中、問題定義も違いひとつにまとめる事は簡単な事ではありません。地域格差があり地方の財源に関わる事もあり、妥協点を見つけれしかないのであります。

こどもが何に一番困っているのか知る必要もあり、一般の家庭も貧困が増えている中、母子家庭の要望を何処までするのか思案のしどころです。

世間の誰もが納得のいくような地道な要望活動の展開を図りたいと思っております。

一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会

副理事長就任のご挨拶



与那嶺 清子

(公益社団法人 沖縄県母子寡婦福祉連合会 会長)

子どもたちに明るい未来を

このたび、副理事長に就任致しました。子どもの貧困対策のための施策が本格的に始まっております。ひとり親家庭に対する支援も多様になり、改善はしていますが、一方で社会の変化も大きく、どのような支援が本当に必要なのかより考えなければならない時代になっています。18歳以上に選挙権も与えられ、これからの社会を担う子どもたちをどう育てるのか私たちに求められる役割は重要です。全母子協の諸先輩方が築いてきた歴史を継承し、連帯する力を発揮し、さらにこうした活動を次世代に引き継ぎながら、今後の課題の解決に向けて取り組んでまいります。皆様のご指導とご協力の程、よろしくお願い致します。



北野 好美

(一般財団法人 三重県母子寡婦福祉連合会 理事長)

次世代を担う子ども達のために

この度、臨時理事会において副理事長に就任いたしました。「まだまだ働きなさい」というサインだと思いき、改めて身を引き締めております。

全国的にもひとり親家庭は増加しているのに、会員は減少している。この相反した現象に向けて打開策を講じ、会員増加に繋げることが会の一番の課題ではないでしょうか。

支援は各人によって様々ですが支援策を知らないひとり親がいることも確かです。長い歴史の中で培ってきたことを粘り強く後世に伝え次世代を担う子ども達のために、負の連鎖を断ち切るためにも邁進する所存です。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

理事就任のご挨拶

近畿ブロック代表

(公益社団法人 和歌山県母子寡婦福祉連合会 会長)

矢野 佳世子



このたび、全母子協の理事に就任いたしました。改めて、代表としての責任を感じているところでございます。ひとり親家庭の方々の経済的自立に向け、安心できる子育て環境と安定した就労の充実を図れるよう、微力ではございますが精一杯努力をしてみたいと思いますので皆様方のご指導とご協力の程、よろしくお願いいたします。

中国・四国ブロック代表

(一般財団法人 広島市母子寡婦福祉連合会 会長)

宮崎 暁美



去る五月二七日の評議員会で、理事に就任いたしました。自身、ひとり親になって久しく、全母子協での第一回母子部長会議の一員だった時から、早十八年が経ちました。その間には、目まぐるしく変わる世情に合わせ私たちが日々、年々と運動をしてみたりしました。政府統計予測でも人口減少の中、これからの未来を担う子ども達を育てるひとり親を全力で応援する気概を、改めて強く決意しております。一方、時間と経済をいっばいいっばいで注いだ子育て後の寡婦の生活においては、これからの生活、健康面の不安をともに考えていきたいものです。

外部理事就任のご挨拶

外部理事

(社会福祉法人 東静会 理事長)

大澤 正男



母子生活支援施設を経営している者として、格差社会における子ども、女性、母子家庭の貧困問題があります。母子家庭の母親の平均年収は223万円多くは貧困状態で、シングルマザーの8割は元夫からの養育費はありません。

今年3月、働き方改革実行計画を発表し、「同一労働同一賃金」は非正規雇用の割合が高いシングルマザーの貧困問題の解決の道になると考えます。是非とも実行して頂きたい。外部理事として精一杯、努力したいと思っておりますので今後ともご支援、ご指導の程、宜しく願い申し上げます。

外部理事

(清田法律事務所 弁護士)

清田 乃り子



平成21年に初めて全母子協の外部理事に選任されてから、早いもので8年が経過し、このたび、外部理事に再任されました。

弁護士という仕事から、多くのシングルマザーの方々と接していますが、当初の不安一杯の顔から、次第に自立へ向けて明るくたくましく変化される姿をみて、大変嬉しく思います。なによりもお子さんの将来を思って努力される、その気持ちが、大きな原動力になっているのだと感じています。

今後とも、全母子協のお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

母子部 部長

(社会福祉法人 福岡県母子寡婦福祉連合会)

合原 佳登理



三度、母子部長の大任を拜命いたしました福岡県の合原佳登理です。平成9年に母子会に入会し、すべてのひとり親家庭が幸せになることを願い、活動をおこなってまいりました。母子会をつくり、生活向上に尽力されてこられた諸先輩の、並々ならぬ努力をさまざまな機会に学びました。その功績を引き継ぎ、今のひとり親家庭のニーズに応える力ある母子部を後継に残していきたいと考えております。わたくし並びに地域の母子部共々ご支援ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

全母子協 評議員・監事

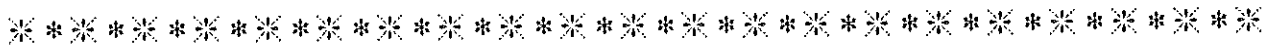
地区	評議員氏名	所属団体
東北・北海道	秋田谷 洋子	公益財団法人 青森県母子寡婦福祉連合会
	畠山 こずゑ	公益財団法人 宮城県母子福祉連合会
関東	栗橋 幸子	公益財団法人 栃木県ひとり親家庭福祉連合会
	是枝 くみ子	公益財団法人 埼玉県母子寡婦福祉連合会
	磯樹 許子	一般財団法人 千葉県母子寡婦福祉連合会
	道下 久美子	一般財団法人 横浜市母子寡婦福祉会
中部	夙岡 京子	一般財団法人 山梨県母子寡婦福祉連合会
	竹内 美和子	公益財団法人 富山県母子寡婦福祉連合会
	米田 浅子	公益財団法人 石川県母子寡婦福祉連合会
近畿	立岡 孝子	社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会
	滝本 美津代	社会福祉法人 大阪府母子寡婦福祉連合会
	吉田 百合子	一般財団法人 堺市母子寡婦福祉会
中国・四国	小林 和子	一般財団法人 岡山県母子寡婦福祉連合会
	永田 穂子	一般財団法人 山口県母子寡婦福祉連合会
	善家 千鶴	一般財団法人 愛媛県母子寡婦福祉連合会
九州	藤田 君子	社会福祉法人 福岡県母子寡婦福祉連合会
	川口 里津枝	一般社団法人 長崎県母子寡婦福祉連合会
母子部	合原 佳登理	全母子協
監事	栗飯原 一雄	税理士
	金子 久江	税理士



就労促進情報関係者連絡会議並びに全国指導者研修会

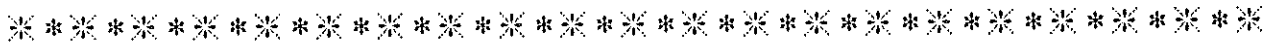
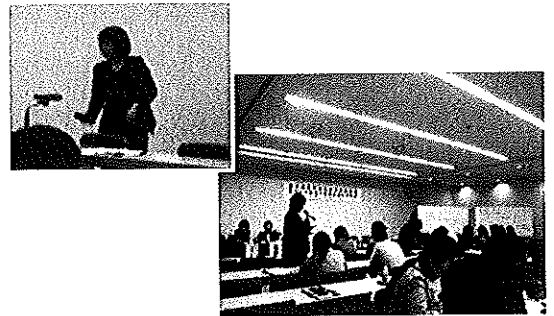
平成 29 年 3 月 12 日、母子寡婦・ひとり親家庭福祉連合会などの役員、関係者、各地域の就業相談員等 111 名が東京都品川区の会場に集結し、会議は開催されました。

各地区ブロックを代表して 6 名の就業相談員より母子家庭の母の就業相談から仕事が決まるまでの事例を踏まえ、就業につながった成功事例、試行錯誤を繰り返すも成功に至らなかった事例などの報告がありました。これらの事例を参考にするため活発な質疑応答もあり、充実した会議となりました。



全国母子部長研修会

全国指導者研修会に引き続き、各団体の母子部長など 45 名が参加して母子部長研修会は開催されました。各地区ブロック代表者による平成 28 年度母子部活動報告の後、合原全国母子部長より「全母子協の歴史（ひとり親家庭等の制度・施策について）」と題する講演があり、全母子協の歴史は児童扶養手当など、ひとり親家庭に必要な施策・制度に大きな影響を与えてきた歴史であることを再認識しました。全母子協の歴史を踏まえ「今、私たちにできること」についてグループ討議を行い、母子部の在り方を確認する研修となりました。



自由民主党母子寡婦福祉対策議員連盟懇談会

平成 29 年 5 月、自由民主党母子寡婦福祉対策議員連盟懇談会は開催され、ひとり親家庭・寡婦に対して支援をいただいている国会議員、関係省庁（厚生労働省など）、全母子協加盟団体代表者等が参加して実施されました。

議員連盟・永岡会長のご挨拶の後、全母子協・海野理事長、全母子協母子部・合原母子部長より、ひとり親家庭などの支援に関する要望書が読み上げられ、関係省庁から要望に対する取り組みなどが説明されました。また国会議員の方より、ひとり親家庭の就労、経済的支援について力強いご意見をいただき、実りある懇談会となりました。

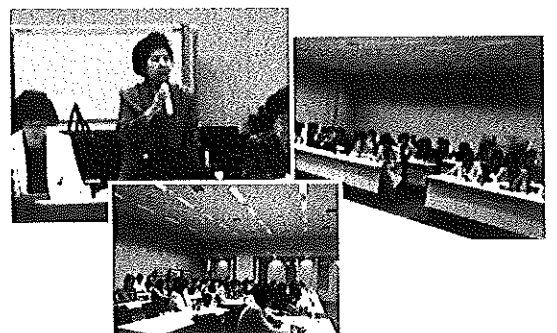
（要望書は 4 ページに掲載）



加盟団体代表者連絡会議

加盟団体代表者連絡会議は、年に一度各団体の代表者が一堂に会い、意見交換を実施する会議として第 4 回をむかえました。例年、各団体の問題点、全母子協への意見などの活発な議論を展開していますが、本年度は新規の事業に関して説明、質疑応答が行われ、加盟 56 団体がまとまり、ひとり親家庭の子どもたちの支援について確認しました。

本年度の全国母子寡婦福祉研修大会について愛知県母子寡婦福祉連合会より説明があり、最後に、理事の改選に伴い退任する梓島・上田副理事長より挨拶があり閉会しました。





叙勲受章

平成29年春の叙勲において、2名の方が受章の栄誉に浴されました。ここに謹んでお祝いを申し上げますとともに、お知らせ致します。

旭日双光章 前田 洋子様

公益財団法人 青森県母子寡婦福祉連合会 前会長

旭日単光章 前田 君子様

公益社団法人 静岡県母子寡婦福祉連合会 副理事長

全国統一活動テーマ

支え合い、共に目指そう明るい未来

母子に関するテーマ

目指そう「自立」、活かそう支援策

母子・寡婦に共通するテーマ

母子と寡婦 明日へつなぐ世代の輪

ひとり親家庭の子どもに関するテーマ

育てよう「自立」、なくそう「孤立」

自由民主党母子寡婦福祉対策議員連盟懇談会 (平成29年5月26日開催)

平成29年5月26日

自由民主党母子寡婦福祉対策議員連盟
会長 永岡 桂子 様

一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会
理事長 海野 恵美子

母子寡婦福祉の充実にする要望書

- 平成25年3月に施行された「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき、ひとり親家庭の親に対する正規雇用の拡大が図られるとともに、寡婦に対しても実効性のある正規雇用施策を講じられるよう要望します。
- 所得税・地方税において、扶養親族のいない生別寡婦にも寡婦控除を適用するとともに、未婚の母に対しても同様の控除を適用されることを要望します。
- 「ひとり親家庭及び寡婦の医療費助成制度」については、各都道府県自治体により、助成する内容や自己負担額に格差が生じないよう、または助成が受けられるよう国による新たな助成制度の創設を要望します。
- ひとり親家庭の親が安心して子育てと就業の両立ができるよう、安定した住居の確保、保育所への優先入所や、待機児童を解消するための施策の充実、放課後児童クラブの優先的利用などの子育て支援を要望します。
- 養育費の支払い履行確保に向けて、義務を課すための法整備を要望します。
- 自動販売機の設置や売店の運営管理については「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき優先して母子・父子福祉団体に発注されるよう要望します。また、事業主に対しても発注の働きかけをされるよう要望します。

平成29年5月26日

自由民主党母子寡婦福祉対策議員連盟
会長 永岡 桂子 様

一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会
母子部長 合原 佳登理

ひとり親と子どもたちの豊かな未来要望書

このたびの子どもへの貧困対策・多子世帯支援ならびに生活困窮者支援法などひとり親に対する制度の改善にご尽力を頂き心から感謝申し上げます。私たち母子をはじめとするひとり親家庭の親たちは、どうすれば子どもたちと笑顔で過ごすことができるのか、日々悩みながら精一杯の毎日を送っています。ひとり親家庭の幸せは、安心して子育てをしながら働くことのできる社会の構築への基盤だと考えております。日本の未来を聞く仕組みづくりの実現において、次のことを国および関係機関に引き続き要望いたします。

- 児童扶養手当法第十三条の三（支給停止条項）の廃止を要望します。
- 児童扶養手当全額支給収入額(現行130万円)を配偶者控除収入額(150万円)にあわせた引き上げを要望します。
- 児童扶養手当額支給期月を2ヶ月ごとの年6回の支払いとするよう改正を要望します。
- 18歳で終了する児童扶養手当支給期間を、子どもが進学する場合、大学・専門学校卒業時まで延長することを要望します。
- 給付型奨学金制度のさらなる拡充を要望します。
- 賃貸住宅にかかる負担の軽減を要望します。(公営住宅家賃と民間賃貸住宅の家賃差額負担分の助成)
- 児童扶養手当における同居親族の所得要件の廃止または同居親族所得制限の収入認定額の緩和を要望します。
- 母子及び父子ならびに寡婦福祉付付制度の内容の見直しと拡充を要望します。

行事予定

行事名	日時	開催団体	開催場所
中国・四国地区母子寡婦福祉研修大会	平成29年9月9日(土)・10日(日)	島根県	島根県民会館
関東地区母子寡婦福祉研修大会	平成29年9月24日(日)	新潟県	ホテルニューオータニ二長岡
東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会	平成29年9月30日(土)・10月1日(日)	札幌市	シャトレ・セガトーキングダムサッポロ
九州地区母子寡婦福祉研修大会	平成29年10月14日(土)・15日(日)	大分県	エイトピアおおの
平成29年度全国母子寡婦福祉研修大会 中部地区母子寡婦福祉研修大会	平成29年11月4日(土)・5日(日)	愛知県	ウェスティンナゴヤキャッスル



編集後記

この度、任期満了に伴い梓島・上田副理事長が退任されました。長年にわたり、梓島・上田副理事長お二人には全母子協の運営にご協力をいただき誠にありがとうございました。

特に例年にない昨今の全母子協の多岐にわたる懸案事項等の中において、細やかなご指導・ご尽力をいただきました。お二人の常に変わらぬ率直で温かなお心遣いは、事務局運営の励みともなっていました。

梓島・上田副理事長お二人のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。(事務局)



全母子協 ニュース

National Federation of Single Parents and Children's Welfare Associations in Japan

第50号

2018年(平成30年)1月発行

一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会
〒140-0011 東京都品川区東大井五丁目23番13号
電話 03-6718-4088 FAX 03-6718-4087
E-mail : info@zenbo.org URL http://zenbo.org



一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会
理事長 **海野 恵美子**

夢を応援基金に感謝

新年を迎えるにあたり一言ご挨拶申し上げます。

皆さま待望の給付型奨学金は全国400名の方が受けられるようになり、お忙しい日々を送られて一段落してホッとしている時期かもしれません。夢を応援して下さったローソン様には大変感謝いたしております。

奨学金の応募には全国より2,357名の申請がありました。選考の段階では奨学金事業が初年度ということもあり、アクシデントが重なり、想定外の事態に関係者の皆様にご迷惑をお掛けいたしました。何とか奨学生を決定することができました。ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。奨学金事業により、全母子協はさらなる前進ができた感じがします。これも皆さまのご協力のおかげです。これを機に、これから若い人も意欲を持って活動して貰える基盤になれば幸いです。

この度、全母子協が厚生労働省より児童福祉事業功労団体として感謝状を頂きました事をご報告いたします。今年もより良い年になります様お互いに協力してがんばりましょう。



厚生労働省 雇用均等・児童家庭局
局長 **吉田 学**

新しい年を迎えて

新年、あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、日頃よりひとり親家庭の自立支援につきまして御理解と御協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、昨年12月に公表した「平成28年度全国ひとり親世帯等調査」では、前回調査に比べて、ひとり親家庭の方々の雇用環境の改善や所得の増加が見られましたが、依然として厳しい状況の中で生活をされている方がいるという事実を重く受け止める結果となりました。

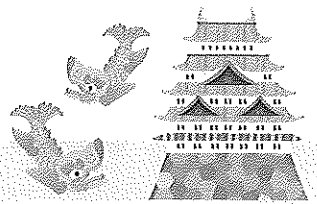
こうした結果も踏まえ、平成30年度予算案においては、児童扶養手当の全部支給所得制限限度額を引き上げるほか、大学院に就学するために必要な貸付資金の創設、未婚のひとり親家庭の母又は父を対象とする寡婦(夫)控除のみなし適用の実施などを盛り込んでいます。また、平成31年から、児童扶養手当の支給回数を現行の年3回から奇数月の隔月支給に見直すこととしています。

「すくすくサポート・プロジェクト(すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト)」に基づき、これらの施策や事業の実施により、引き続き、ひとり親家庭の自立を応援してまいります。

本年も皆様方にとって幸多き年となりますよう祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



平成 29 年度 全国母子寡婦福祉研修大会 平成 29 年度 中部地区母子寡婦福祉研修大会



メインテーマ：支え合い、共に目指そう明るい未来

<p>会期 11月4日(土) 5日(日)</p> <p>会場 ウェスティンナゴヤキャッスル 「青雲の間」</p> <p>参加者数 1,105名</p>	<p>主催：一財) 全国母子寡婦福祉団体協議会 中部地区 6 県・母子寡婦福祉連合会 社会福祉法人 愛知県母子寡婦福祉連合会</p> <p>講演：演題：「女性がつくる日本・地域の元氣」 講師：日本舞踊家 西川流四世家元 西川 千雅 氏</p>
--	---



開会宣言



理事長表彰



主催者挨拶

11月4日・5日の両日、名古屋市内のウェスティンナゴヤキャッスル「青雲の間」において、愛知県知事、名古屋市長、愛知県議会議長始め多数のご来賓のご臨席を賜り、同大会を開催しました。

開会式では、海野理事長より公益社団法人札幌市母子寡婦福祉連合会顧問 上田厚子様へ理事長表彰が贈呈されました。行政説明に続き、前田紳詞氏（前田マネジメント代表）のコーディネートにより研修討議が行われ、各地区代表の発表の後、4名の助言者からの的確なアドバイスがありました。



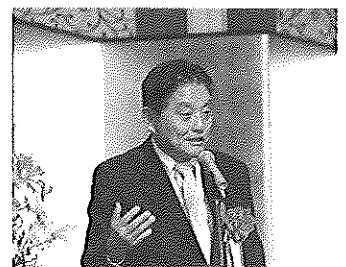
愛知県知事祝辞



研修討議コーディネーター



研修討議



名古屋市長祝辞

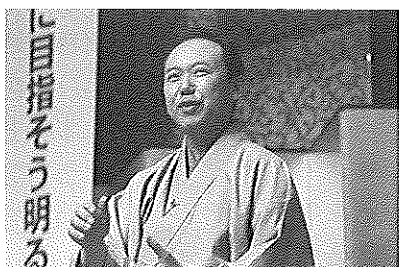
2日目は名古屋山三郎一座のオープニングパフォーマンスに始まり、講演では日本舞踊家 西川流四世家元 西川千雅氏のお話と舞踊、そして参加者も一緒に体を動かしながらの体験型講演会に楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

続いて、大会宣言、決議を採択し、閉会式では、次期開催団体である一般財団法人岡山県母子寡婦福祉連合会理事長のあいさつがありました。

最後は全員で「今日の日さようなら」を合唱し、二日間に亘る大会を終了しました。



交流会



講演



2日目 オープニング



大会宣言



決議



次期開催団体挨拶

大会宣言

私たち全国母子寡婦福祉団体関係者は、ここに平成29年度全国母子寡婦福祉研修大会を開催し、ひとり親家庭及び寡婦の現状を認識し、その生活の安定と向上のために組織として果たすべき役割を確かめました。

時代の移り変わりとともに人々の価値観は多様化し、生活の格差も広がるなど社会が抱える問題は尽きることはありません。また、景気は緩やかに回復しているとはいえ、依然として厳しい雇用情勢の中で貧困に苦しむひとり親家庭にとって、その実感はほとんど感じられないのが現状です。

このような状況に対し、私たちは、会の社会的な意義と役割について認識を深め、原点である「わが幸はわが手で」の精神を再確認し、一人親家庭に及び寡婦の暮らしを安定と安心のために、さらに日本の未来を担う子どもたちの健全育成と子どもの貧困の解消のために、ともに手を携え地域社会に貢献する団体として一層団結し、総力を挙げて一人親家庭及び寡婦の福祉の向上のために邁進することをここに宣言します。

平成29年11月5日

平成29年度全国母子寡婦福祉研修大会参加者一同

決議

平成29年度全国母子寡婦福祉研修大会において、ひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上を図るため次の事項を決議し、その実現を国及び関係機関に強く要望します。

- 1、子どもの貧困対策として、子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることのないよう、進学を経済的に支援するための給付型奨学金制度の高校における拡充と大学への導入を要望します。
- 1、平成25年3月に施行された「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき、ひとり親家庭の自立のための自治体や地元企業で正規雇用の拡大を図るなど積極的な支援の取り組みを要望します。
- 1、ひとり親家庭が安心して子育てと就業の両立ができるよう、公営住宅への優先入居、保育所と放課後児童クラブの優先入所を確保なものにするなど、子育て支援及び就労できる環境づくりの充実を要望します。また、病児・病後時保育等の施策の充実も要望します。
- 1、児童扶養手当制度については所得制限の収入認定額を緩和されるとともに、同居親族の所得要件の廃止や、第2子以降の支給額の更なる増額など、生活実態に合わせて見直されることを要望します。
- 1、養育費の確保が充分に出来ていない現状において、養育費の支払いの義務を法律によって強化するとともに、養育費を支払う側に養育費控除を新設するなど、養育費の支払い履行を確保なものとする制度づくりを要望します。
- 1、「ひとり親家庭及び寡婦の医療費助成制度」については、各都道府県自治体により、助成する内容や自己負担額に格差が生じています。居住地にかかわらず格差なく負担をし、あるいは助成が受けられるよう、国による新たな助成制度の創設を要望します。
- 1、所得税・地方税において、扶養親族のいない別居寡婦や未婚の母に対しても寡婦控除と同様の控除を適用されるよう要望します。
- 1、自動販売機の設置や売店の運営管理については、「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき優先して母子・父子寡婦福祉団体に発注されるよう要望します。又事業主に対しても発注の働きかけをされるよう要望します。

平成29年11月5日

平成29年度全国母子寡婦福祉研修大会 参加者一同



\\ ここで11月4日(土)の研修討議の中から、発表のご紹介 //

テーマ こどもの学習支援と居場所づくり

公益社団法人 札幌市母子寡婦福祉連合会
石橋 里香



私は、今から15年前、夫のDVから逃れるため、いつ家を出ようかと機会をうかがっていました。

当時小学生だった娘と「今だ!」と一瞬のすきをみて着の身着のまま家を出て、シエルタワーに駆け込みました。

その後、知人の紹介で札幌連の会員になり、就労支援講習会を受講し調理師資格を取得し、老人施設で働いていた時でした。

体調を崩し病院で検査をしたところパーキンソン病と診断されました。

私はショックでその病を受け入れるのに時間がかかり、ひきこもり状態になっていました。

さらに、娘も、離婚に伴う転校など、急激な環境の変化についていけず、中学校はとうとう不登校になってしまいました。

当時は、孤立し自己肯定感が低くなり、このままでは、親子ともどもダメになると感じていた矢先、区母連の会長から、「さっぽろ・まなトピア」を手

伝ってほしいと電話がありました。
した。

まさに救いの手ともいうべきこの電話に「こんな私でもお役に立てれば」と引き受けました。

学習支援事業、通称「さつぼろ・まなトピア」は、平成 22 年、ひとり親家庭のお母さん達から、経済的な理由で塾に行かせられないとの切実な声を受け、北海道大学の教授はじめ、色々な方のご協力をいただき、札幌連の自主事業としてスタートし、今年で 7 年目を迎えました。

開講当時は、資金繰りが大変で、試行錯誤の連続でしたが、「本当に教育が必要な子どもたちに教育の機会を」との私たちの願いが通じ、平成 26 年には、札幌市の委託事業となり、現在は、札幌市内 10 ケ所の会場で開催され、学習支援と共に、子ども達にとって安心できる居場所として、定着してきました。

私の担当は、中央区の会場

で、小学 3 年生から中学 3 年生までの 15 人程度の生徒が通ってきています。講師の先生は、ボランティア精神に富んだ熱心な大学生、教員 O B、O G、の方々による個別指導を行っています。

中には何かの原因で不登校になったり、発達障がいのお子さんも通っていますが、ここではみんな同じ、ここに来ることが楽しく、心を開ける安心な居場所になっています。



時には勉強だけでなく、クリスマス会などのイベントや、課外授業として 2020 年より小学校の必修科目になる、プログラミング体験教室への参加や、老人ホームのお祭りに参加し、お年寄り、地域との交流なども図っています。

このように子ども達にとって、学校以外の学びの場として「学習や進学意欲の喚起」、「学ぶ楽しさ」、「居場所づくり」、「生きる力の養成」などの取り組みを通して、子ども達が笑顔になり、成長する姿を見るにつけ、この事業の継続と重要性を感じています。

また、お母さん達には、当事者団体ならではの知見と経験を活かし、メンタル面や生活の不安、子どもに関する悩みに、コーディネーターが中心になり、「ピアサポート支援も行い、自立へのお手伝いをさせて頂いています。

わが娘も、あれから数年の時を経て、自分のやりたかつ

たダンスの道に進み、今は、インストラクターとして自立出来るまでになりました。

これというのも、母子会の方々はじめ大勢の方々が手を差しのべて下さったお蔭と感謝の気持ちで一杯です。私は現在、リハビリを続けながら短時間勤務で働いておりますが、「まなトピア」に行く日は、体も軽く調子がいいのです。

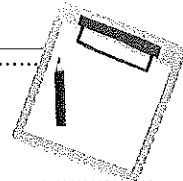
主治医の先生も驚く程の回復の原動力になっている「まなトピア」は私にとっての特效薬です。

最後になりますが、未来を担う子ども達が、夢と希望をもって成長できる社会の実現を目指し、これからも「さつぼろ・まなトピア」に誇りをもって、関わってまいりたいと思います。



特集 地区研修大会

平成 29 年 6 月 25 日～ 10 月 15 日に各地において開催されました、大会の様様をまとめました。



平成 29 年度 近畿地区母子寡婦福祉研修大会

会 期：6 月 25 日 (土)
会 場：ホテル・アゴーラリージェンシー堺
主 催：一般財団法人 堺市母子寡婦福祉会
近畿地区母子寡婦福祉団体
一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会
研 修 討 議：「シンポジウム形式による各地区代表の発表と討議」
コーディネーター：龍谷大学 副学長 社会学部 現代福祉学科
教授 長上 深雪 氏



開会式

6 月 25 日 (日)、近畿地区母子寡婦福祉研修大会が堺市母子寡婦福祉会主催によりホテルアゴーラリージェンシー堺で開催されました。

オープニングセレモニーとして、ピアノ演奏 ソロと連弾でさわやかに始まり、堺市長、国会議員他多くのご来賓の出席を得て開会式が行われました。その後、厚生労働省より行政説明、また龍谷大学副学長の長上教授をコーディネーターに迎え、研修討議を行いました。



研修討議

研修討議では、各地区の代表者 5 名から発表者自身の体験談や、組織で行っている子どもの居場所づくりや学習支援等、その歩みについて発表されました。討議の後、会場からも意見があり、有意義な研修になりました。助言者の「向き、不向きより前向き」という言葉が生き方の指針として心に残りました。

交流会では津軽三味線や河内音頭で盛り上がり、

会場をぐるりと一周する踊りの輪で、にぎやかに笑顔で終わりました。



交流会



オープニング

平成 29 年度 中国・四国地区母子寡婦福祉研修大会

会 期：9 月 9 日 (土)・10 日 (日)
会 場：島根県民会館 中ホール
主 催：一般財団法人 島根県母子寡婦福祉連合会
中国・四国地区母子寡婦福祉団体
一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会
講演テーマ：「わくわくどきどき心地よく～出逢いに感謝～」
講 師：岩崎 巖 氏



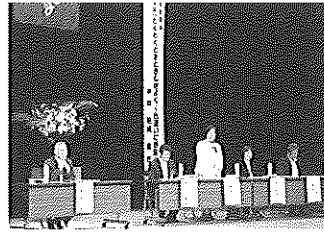
開会式

今年度の中国・四国地区母子寡婦福祉研修大会は島根県が担当となり 9 月 9 (土) 10 日 (日) 島根県民会館中ホールに於いて開催しました。

第 1 日目の開会式では、島根県の溝口善兵衛知事、松江市副市長など来賓の方々のご臨席を頂き数々のご祝辞や励ましのお言葉を頂きました。続きまして、厚生労働省より最新のひとり親家庭対策についての行政説明があり、母子家庭等への支援が増えていることや、どのような制度があるのかを説明していただき、私達の活動の成果を改めて認識しました。行政説明に続いて研修討議を行いました。

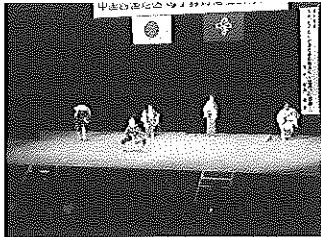


研修風景



研修討議

第2日目は母子部会とアトラクションと特別講演をしました。その後、「大会宣言・決議事項」を採択し2日間にわたる大会が無事に終了致しました。



アトラクション



アトラクション

第71回 関東地区母子寡婦福祉研修大会

会 期：9月24日(日)
 会 場：ホテルニューオータニ長岡「NCホール」
 主 催：一般財団法人 新潟県母子寡婦福祉連合会
 関東地区母子寡婦福祉団体
 一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会
 講演テーマ：「みんながってみんないい」
 講 師：テノール歌手 新垣 勉 氏



主催者挨拶

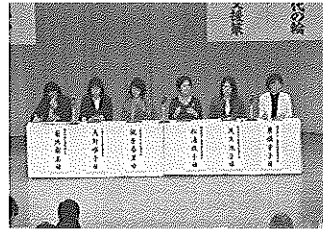


開会式

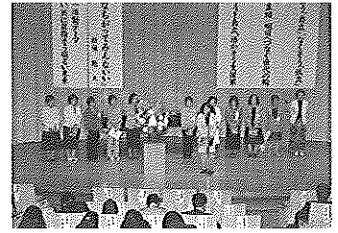
平成29年9月24日(日)新潟県長岡市で第71回関東地区母子寡婦福祉研修大会を開催しました。晴天に恵まれ新潟県外からの186名を含め366名と多数の皆様に参加していただきました。

シンポジウムでは、「仕事と子育ての苦労」「正社員になるため常にアンテナを張りチャンスを見逃さずキャリアアップを図る」「交流セミナー活動」など資格と自立を望む6名の方が発表しコーディネーターの村山伸子教授の進行により、助言者から広い知識の指導をいただき意義深い討議が行われました。

また講演では、盲目のテノール歌手、新垣勉氏より「みんながってみんないい」と題した4曲の歌



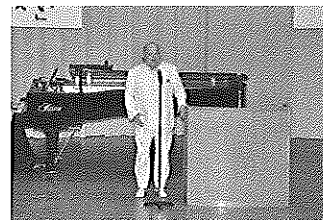
シンポジウム



閉会式

唱を含めた講演を行って頂きました。「あなたの人生に何を残しますか、人、お金、名誉？」と参加者に問いかけ、常ににこやかな表情でユーモアたっぷりのトークと素晴らしい歌声に魅了された講演でした。

交流会につきましても、163名と多くの皆様より参加していただき、県外からのお客様には、新潟の美味しいお米とお酒を堪能していただけたようです。



講演



交流会

第61回 東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会

会 期：9月30日(土)・10月1日(日)
 会 場：シャトレゼ ガトーキングダム サッポロ
 主 催：公益社団法人 札幌市母子寡婦福祉連合会
 東北・北海道地区母子寡婦福祉団体
 一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会
 講演テーマ：「母として、女性として生きること」
 講 師：中田 美知子 氏



開会式



研修討議

爽やかな秋空のもと、札幌市内とはいえ都心の喧騒を離れた郊外のリゾートホテルにて、沢山のご来賓の方々にご臨席賜り盛大に開催されました。厚生労働省の行政説明に始まり、研修討議はそれぞれのテーマに基づいて各地区代表の7名に発表していただきました。コーディネーターの北海道大学大学院松本伊智朗教授の的確なアドバイスで時間通り、お待ちかねの交流会へと進行することが出来ました。

平成30年度 活動テーマ

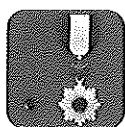
全国統一活動テーマ

つなごう人の輪、守ろう地域の輪

☆ 母子に関するテーマ
正規雇用で安定就労

☆ 母子・寡婦に共通するテーマ
**母子と寡婦
共にはぐくむ子どもの未来**

☆ ひとり親家庭の子どもに関するテーマ
すべての子どもに安心と希望を！



叙勲受章

平成29年秋の叙勲において、2名の方が受章の榮譽に浴されました。
ここに謹んでお祝いを申し上げますとともに、お知らせ致します。

旭日双光章 高柳 美子 様
一般財団法人 大分県母子寡婦福祉連合会 理事長

旭日単光章 岩切 小夜子 様
公益財団法人 埼玉県母子寡婦福祉連合会 副会長

行事予定

行事名	日時	開催	開催場所
平成29年度就労促進情報関係者連絡会議 並びに全国母子寡婦指導者研修会	3月11日(日)	全母子協	アワーズイン阪急
平成30年度近畿地区母子寡婦福祉研修大会	7月1日(日)	京都府	京都テルサ
第62回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会	9月1日(土)・2日(日)	青森県	ホテル青森
平成30年度中部地区母子寡婦福祉研修大会	9月9日(日)・10日(月)	富山県	砺波ロイヤルホテル
第65回九州地区母子寡婦福祉研修大会	9月22日(土)・23日(日)	北九州市	戸畑市民会館
第72回関東地区母子寡婦福祉研修大会	9月30日(日)	茨城県	ホテルレイクビュー水戸
平成30年度全国母子寡婦福祉研修大会 平成30年度中国・四国地区母子寡婦福祉研修大会	10月27日(土)・28日(日)	岡山県	岡山プラザホテル

編集後記

昨年中は、お世話になりありがとうございました。

ローソン様のご支援により「夢を応援基金『ひとり親家庭支援奨学金制度』」事業が昨年7月よりスタートし、その後、たくさんの方々のご協力・ご支援をいただきました。

また、奨学金事業と合わせて事務所移転も

同時にあり、全母子協としていろんな意味でチャレンジ多き年であったのではないかと思います。

新しき年を迎え今年一年が、子ども達の夢を育みひとり親・寡婦共に笑顔で日々幸せに暮らせる年でありますようお願い申し上げます。

